



児童図書研究室だより

平成31年3月25日 発行

Vol. 19

2018年 国内子どもの本に関する賞

2018年の国内の主要な児童文学賞で、当館に所蔵している本をまとめました。児童図書研究室にて3月19日（火）から5月21日（火）まで『2018年主な児童文学賞受賞作品』を展示しています。ぜひ、手にとってご覧ください。

賞		タイトル	著者	出版社	出版年月	請求記号
日本絵本賞	大賞	わくせいキャベジ動物図鑑	tupera tupera/作・絵	アリス館	2016.11	E/ツヘ/
	絵本賞	ドームがたり	アーサー・ピナード/作 スズキコージ/画	玉川大学出版部	2017.3	E/スス/
		ばけバケツ	軽部 武宏/作	小峰書店	2017.7	E/カル/
	翻訳絵本賞	シャクルトンの大漂流	ウイリアム・グリル/作 千葉茂樹/訳	岩波書店	2016.10	E/クリ/
	読者賞	しんごうきピコリ	ザ・キャビンカンパニー/作・絵	あかね書房	2017.4	E/サキ/
坪田譲治文学賞		ペンギンは空を見上げる	八重野 統摩/著	東京創元社	2018.5	F88-73/へん18/
講談社出版文化賞	絵本賞	へろへろおじさん	佐々木 マキ/さく	福音館書店	2017.4	E/ササ/
産経児童出版文化賞	大賞	よるのおと	たむらしげる/著	偕成社	2017.6	E/タム/
	JR賞	さかなのたまご	内山 りゆう/写真・文	ポプラ社	2017.7	C487/ウチ/
	美術賞	猫魔ヶ岳の妖怪	八百板 洋子/再話 斎藤 隆夫/絵	福音館書店	2017.3	E/サイ/
	産経新聞社賞	こんびら狗	今井 恭子/作 いぬんこ/画	くもん出版	2017.12	C913/イマ/
	フジテレビ賞	世界恐竜発見地図	ヒサ クニヒコ/絵・文	岩崎書店	2017.5	C457/ヒサ/
	ニッポン放送賞	世界を救うパンの缶詰	菅 聖子/文 やました こうへい/絵	ほるぷ出版	2017.10	C588/スカ/
	翻訳作品賞	うみべのまちで	ジョアン・シュウォーツ/文 シドニー・スミス/絵	BL出版	2017.7	E/スミ/
わたしがいどんだ戦い1939年		キンバリー・ブルベイカー・ブラッドリー/作	評論社	2017.8	C933/フラ/	
日本児童文学者協会賞		こんびら狗	今井 恭子/作 いぬんこ/画	くもん出版	2017.12	C913/イマ/
日本児童文学者協会 新人賞		ラブリー!	吉田 桃子/著	講談社	2017.6	C913/ヨシ/
日本児童文芸家協会賞		オオカミのお礼 1~3巻 (※)	おおぎやなぎ ちか/作 中川 学/絵	くもん出版	2017.8	C913/オオ/1
児童文芸新人賞		僕は上手にしゃべれない	権野 直弥/著	ポプラ社	2017.2	C913/シイ/
小学館児童出版文化賞		こんびら狗	今井 恭子/作 いぬんこ/画	くもん出版	2017.12	C913/イマ/
		大名行列	シゲリ カツヒコ/作	小学館	2018.3	E/シケ/
福島正実記念SF童話賞	大賞	おれからもうひとりのぼくへ	相川 郁恵/作 佐藤 真紀子/絵	岩崎書店	2018.8	C913/アイ/
ひろすけ童話賞		ツトムとネコのひのようじん	にしかわ おさむ/ぶん・え	小峰書店	2017.11	C913/ニシ/
小川未明文学賞	大賞	スケッチブック	ちばるに/作 シライシ ユウコ/絵	学研プラス	2018.12	C913/チハ/
野間児童文芸賞		満月の娘たち	安東 みきえ/著	講談社	2017.12	C913/アン/
けんぶち絵本の里 大賞	大賞	くろくんとちいさいしろくん	なかや みわ/さく・え	童心社	2017.9	E/ナカ/
	びばからす賞	こねてのぼして	ヨシタケ シンスケ/作	プロズ新社	2017.10	E/ヨシ/
		あま〜いしろくま	柴田 ケイコ/作・絵	PHP研究所	2017.8	E/シハ/
		あいたくてあいたくて	みやにし たつや/作・絵	女子パウロ会	2017.10	E/ミヤ/
	アルパカ賞	いちにちじごく	ふくべ あきひろ/さく かわしま ななえ/え	PHP研究所	2017.7	E/カワ/
ニッサン童話と 絵本のグランプリ	童話の部大賞	ぶうぶうママ	小路 智子/作 はらだ ゆうこ/絵	BL出版	2018.12	E/ハラ/
	絵本の部大賞	こぐまのアーリーとあかいぼうし	わだ あい/作	BL出版	2018.12	E/ワタ/

※『オオカミのお礼』の請求記号は第1巻の情報を掲載

2017年に出版された主な話題の児童書について

1 平成30年度第3回図書館職員等研修講座(基本研修)「2017年に出版された主な話題の児童書」の開催



2018年7月3日、岡山県立図書館にて、平成30年度第3回図書館職員等研修講座(基本研修)「2017年に出版された主な話題の児童書」を開催しました。この講座は、毎年岡山県立図書館の児童資料班の職員が講師となり、前年に出版された主な話題の児童書を紹介しています。

雑誌『子どもの読書』(親子読書地域文庫全国連絡会)2018年3・4月号によると、2017年発行の児童書新刊発行点数は、3,401点でした。そのうち、岡山県立図書館の児童資料班の職員が、複数の児童図書研究資料を参考にして、約440点まで絞って話題になった児童書のリストを作成しました。リストは、よみもの、ノンフィクション、絵本の3つの分野に分けて作成していて、講座ではその中からさらに厳選した約90点の児童書について解説しました。また、図書の紹介に伴い、2017年の児童書の出版傾向や、亡くなった作家等(ディック・ブルーナ、まついのりこ、エイミー・クラウス・ローゼンタール、儀間比呂志、杉田豊、マイケル・ボンド、おかべりか、森本順子ほか)も説明しました。

リストに掲載した本は、実物を手に取って見ていただけるように、会場内に展示を行いました。市町村図書館、小・中・高校の学校図書館、大学図書館の職員の方々など、多くの図書館関係者の方々が参加され、興味深くご覧いただきました。そして、「絵本の表紙や中のページなどを見せて説明して下さったのが良かったです。」「出版された書籍の傾向がわかり、参考になりました。」などのお声をいただきました。

よい本、向く本というのは、子どもによって一人ひとり違います。この講座で紹介する本は、複数の児童図書研究資料に取り上げられたもので、評価の高い本だけでなく、考えさせられる本も含まれています。そのため、この講座に参加された方々が去年の傾向をどうとらえるか、どういう本を子どもたちに進めていけばよいか考える参考にさせていただければ幸いです。講座で使用した図書リストは、岡山県立図書館のホームページからダウンロードできるようになっています(→アドレスは下記参照)。ぜひご利用ください。

岡山県立図書館・岡山県図書館協会「図書館職員研修」：<http://www.libnet.pref.okayama.jp/libnet/librarian/index.htm>

2 ヨムヨム巡回展示の開催

話題になった児童書は、市町村図書館でも実際に手に取って見ていただけるよう一括貸出しを行い、「ヨムヨム巡回展示」を開催しています。今年度は、笠岡市立図書館と里庄町立図書館から依頼があり、両図書館で展示させていただきました。会場内に置かせていただいていたアンケートには、「新しい本がたくさんあって、とても魅力的でした。」「読み聞かせの絵本選びの参考になりました。」などのお声をいただきました。

展示に際し、両図書館に多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。



(上：笠岡市立図書館、下：里庄町立図書館)

(1) 笠岡市立図書館にて

- ・ 展示期間：平成30年12月19日(水)～平成31年1月8日(火)
- ・ 岡山県立図書館児童図書研究室に常設展示の2017年に国内で出版された話題の児童書約300冊を展示しました。
- ・ 展示期間中には、岡山県立図書館職員による読み聞かせ講座「おしえて！読み聞かせ」も行いました。

日時 平成30年12月19日(水) 14:00～15:00

会場 笠岡市立図書館

(2) 里庄町立図書館にて

- ・ 展示期間：平成31年2月1日(金)～7日(木)
- ・ 岡山県立図書館児童図書研究室に常設展示の2017年に国内で出版された話題の児童書約230冊を展示しました。

生誕100年 いわさきちひろ

2018年11月20日～2019年1月20日まで、児童図書研究室展示1のスペースで「生誕100年 いわさきちひろ」と題して展示を行いました。1918（大正7）年に誕生した、いわさきちひろは2018年に生誕100年を迎えました。淡い色づかいで描かれた愛らしい子どもたちの絵は、今もなお多くの人を惹きつけています。展示では、いわさきちひろの略年譜を振り返るとともに、絵本・画集・研究書を集めました。展示の様子と関連資料をご紹介します。

1 いわさきちひろ

いわさきちひろの人となりを一言でいうと「真綿で鉄の心棒をくるんだような人」と表現されます。やさしくやわらかな外見の内側に、強い信念が隠れています。

自分らしい絵を追及する姿勢、画家の著作権保護のため活動する様子、夫と息子を守る母としての姿、平和を願う思いなど、ちひろの生涯を追っていくと強く生きた女性の姿が浮かび上がります。



2 代表的な絵本

『ひとりできるよ』（小林純一／作 「こどものとも」1957年3月号 福音館書店）

はじめて1冊全編を描いた絵本です。当時幼稚園に通っていた息子の猛をモデルに、男の子とお姉さんが「ひとりできますよ」と言いながらいろいろなことに挑戦します。「こどものとも」では、もう1冊『みんなでしようよ』も制作されています。こちらは猛とその友だちがモデルになっています。しかし、「こどものとも」はストーリー性のある物語絵本を目指しており、ちひろの画風に合わなかったため、この2冊のみの刊行になりました。

『あめのひのおるすばん』（武市八十雄／案 「こどものせかい」1968年6月号 至光社）

武市とちひろは新しい絵本を模索し、二人で五日間の合宿を行いました。そこで生まれたのが、この絵本です。ホテルに着いた日が雨だったことで着想を得て、ちひろの幼いころの記憶が加わり、作成されました。また、二人はこの合宿で今後の絵本制作について、次の6点を確認しました。

- ①感じ感じさせることに集中しよう。
- ②ひき算でいこう。絵本のテーマをたし算にすると説明的になる。
- ③勢いを大事にしよう。
- ④絵と文の底にかくし味をこめよう。
- ⑤不完全だが充分なものに。完全を目指すと言説明的になる。
- ⑥絵本全体を1枚の絵とする見方で判断しよう。

『戦火のなかの子どもたち』（1973年 岩崎書店）

ベトナム戦争に巻き込まれた子どもたちを描いた絵本です。自身の戦争体験も色濃く反映されています。当時、美術大学の学生だった、息子の猛も構成に参加しました。「焰のなかの母と子」の絵は、校正刷りが終わった後に追加された絵で、母親の力強い目と無垢な子どもの表情が印象的です。ちひろ最晩年の作品で、ガンに冒された状態の中で制作されました。没後、ライプチヒ国際書籍展銅賞を受賞しています。



<参考文献>

『MOE』第34巻第9号 白泉社 2012.8

『いわさきちひろ 平和を願い、こどもを描きつづけた画家』ちひろ美術館／監修 河出書房新社 2013.9

『ちひろメモリアル』平凡社 2018.7

<その他研究書>

『ちひろのアトリエ』松本 猛／文 新日本出版社 2004.8

『ちひろさんと過ごした時間』黒柳 徹子／ほか著 新日本出版社 2014.8



児童図書研究書の紹介

2018年～2019年に発行された児童図書研究書のうち、下記の5点をご紹介します。

『絵を読み解く絵本入門』

藤本 朝巳／編著 生田 美秋／編著 ミネルヴァ書房／発行 2018年 請求記号 726.601/㍿18/ 資料番号 0014440887

本書は、児童文学研究者や画家をはじめ、イラストレーターや学芸員、保育の専門家などさまざまな分野の専門家が、独自の視点で絵本の「絵」を解説したものです。『かいじゅうたちのいるところ』や『バムとケロのにちようび』など、古典から現代まで39作品を取り上げるとともに、絵本作家等のエッセイも収録しています。絵本研究に役立つのはもちろんのこと、自分が好きな絵本をいつもと違う見方で楽しんでみてはいかがでしょうか。

『小学生のうちに読みたい物語 学校司書が選んだブックガイド』

対馬 初音／編著 少年写真新聞社／発行 2018年 請求記号 909.3/㍿18/ 資料番号 0014458186

東京都杉並区の小学校の司書たちがまとめた、ブックガイドです。紹介されている本は物語の中からリストアップされており、子どもたちの心に残るような力のある本が多数掲載されています。対象年齢別にまとめられており、キーワードも豊富につけられていて、子どもたちの読書活動のために利用しやすい1冊です。紹介文には、あらすじに加え読みどころや、手渡すときのポイントも書かれています。出版社の変遷や流通状況も付されており、実際にその本を手に取りたくなったとき探しやすいようになっています。ぜひ子どもたちに本を紹介するときなどに参照してみてください。

『星の王子さま百科図鑑』

クリストフ・キリアン／著 三野博司／訳 柘風舎／発行 2018年 請求記号 L953.7/㍿18/ 資料番号 0014491963

「いちばん大切なものは目に見えない」などの多くの名言を残し、270もの言語に翻訳された世界的ベストセラーの『星の王子さま』。この本は、その魅力を余すところなく紹介した図鑑です。サン＝テグジュペリの生涯や、物語誕生の背景、手書き原稿のほか、映画、テレビ、舞台、マンガ、テーマパークやグッズ等までさまざまな分野へ波及した『星の王子さま』を紹介しています。中でも、世界中の『星の王子さま』の表紙の絵が一堂に並べられたページは圧巻です。500枚を超える豊富な図版とサン＝テグジュペリ略年表、索引（約500項目）があり、研究書として最適な一冊です。

『絵本は心のへその緒 赤ちゃんに語りかけるということ』

松居 直／著 NPO ブックスタート／発行 2018年 請求記号 019.53/㍿18/ 資料番号 0014497242

本書は、松居直氏が「赤ちゃん絵本」や「ブックスタート」について、どのような考えを持っているか、過去の講演記録やインタビュー記録などをもとにまとめたものです。テレビなどから流れてくる機械語への危惧とともに、読み聞かせによって得られる「豊かな言葉」の重要性が説明されています。また、「ブックスタート」が日本に導入された経緯や、どのような思いで実施されているかも紹介されています。絵本の読み聞かせは、赤ちゃんだけでなく読み手の幸せにもつながります。赤ちゃんへの読み聞かせを考えられている方は、本書を参考にしてみてください。

『どの絵本読んだらいいですか?—元「童話屋」読書相談員・向井惇子講演録』

向井 惇子／[述] 向井 ゆか／編 2019年 かもがわ出版 請求記号 019.53/㍿19/ 資料番号 0014830087

向井惇子さんは、多くの子育てママから慕われ続けた絵本アドバイザーでした。向井さんの講演録である本書では、具体的に絵本を例示して、子どもの成長に寄り添った絵本選びや、「生きる力」を育む読書について解説しています。講演時に展示した100冊の図書リストと、勉強会で配られた読みものリストが掲載されています。親子で絵本を楽しみたいお父さんやお母さんのほか、司書や保育士、幼稚園教諭など子どもや子どもの本に携わる仕事をされている方に最適な絵本ガイドです。絵本選びが初めての方も、まずはこの本を読んでみることから始めてはいかがでしょうか。

4月23日は

「子ども読書の日」

ヨムヨム春のおはなしまつり

「音のふしぎ」をテーマに絵本の読み聞かせと工作を計画しています。ぜひ、ご参加ください。(入場無料)

◆平成31年4月20日(土) 14:00～15:30 (受付開始 13:30～)

◆岡山県立図書館2階多目的ホール ◆先着40名(保護者同伴可) ◆事前申込み不要

発行日 平成31年3月25日発行

発行 岡山県立図書館 サービス第一課 児童資料班

〒700-0823 岡山県岡山市北区丸の内2-6-30 Tel : 086-224-1286 (代表) Fax : 086-224-1208